

発行日 2007年3月23日  
発行元 土井裕之 〒336-0042 さいたま市南区大谷口2423

tel 048-873-1965  
fax 048-873-3446

E-mail doi@doih.net  
HP <http://doih.net>

FROM EDITOR

さいたま市南区。東西に長い独特の区域。駅周辺は、商店・高い建物が連なり、人と車でごった返す。駅を少し離れると住宅街に。マンション、一戸建て。新築そして建築中の物件。どこまでも住宅街。「東京のベッドタウン」たる由縁です。さらにはずれに行くと、緑が所々に点在。昔はあたり一面に存在していたであろう雑木林の痕跡。別所沼、白幡沼、六辻水辺公園など水辺があり、荒川、笹目川、藤右衛門川といった堂々たる川の流れ。…改めてこの区域に様々な資源があることを実感。そして数日後。ここを舞台に激戦が繰り広げられることとなります。

<http://doih.net>



<http://doih.livedoor.biz>

## 土井裕之の約束

- ◎組織・団体の支援に依存しません。
- ◎説明責任を徹底します。

編集責任

さいたま市議会議員  
**土井裕之**



1971年、旧浦和生まれ。川口北高校卒業。明治大学大学院ガバナンス研究科在学中。1999年より浦和市議を2年勤め、合併の際、辞職。2003年さいたま市議に無所属で当選。無所属を貫く。

# 次の4年間、さいたま市政の課題

— 「機能する議会へ」「本筋の行政改革を」 —

これからの4年間、これまでの議論を形にしていく絶好のタイミングです。小さな変化を大きな改革の形にしていく4年間となります。

## 「議会改革」

### ●議員報酬・定数の削減

この2月、全会一致で、議員報酬5%削減の一年間の延長が決定された。報酬の再考は必要。定数は削減を主張する声が多数を占めていたにもかかわらず、来期に持ち越された。削減に反対する会派もあり、まとまらなかった。議論の決着をつけ、削減する必要がある。

### ●政務調査費の用途基準厳格化と領収書公開

食費には使用しないなど、より厳しい用途基準を設定するとともに、領収書の前面公開をルールとする。私の所属する無所属の会では一貫してすべての領収書の公開を求めるとともに、ホームページ上で公開してきた。

無所属の会HP <http://mu7.org>

### ●議会基本条例の策定

議会が行政と緊張関係を持ち、主体性ある機関であることを市民に示す意味でも、十分な議論を経て議会基本条例の策定を進めたい。

## 「行政改革」

### ●外郭団体の退職幹部職員天下りの見直し

幹部職員の天下りは、原則廃止するべきだ。国では「人材バンク」方式の議論が進められている。

### ●行政による民間の担い手へのチェック体制の充実

ふじみ野市のプール事故が象徴するように、官民協働の流れの中で行政のチェック能力の充実が求められる。書面主義を脱し、実質的にリスクを削減しなければならない。

### ●市民への説明を丁寧に行なう

税源移譲、盆栽、下水道…説明が足りず余計な混乱を招くことも少なくない。事業を進めるに当たっては徹底して説明する姿勢が必要だ。

◎資料をご希望の方はメール・FAX・お電話で随時発送を受け付けておりますのでご連絡ください。